

1 会議名	第3回香良洲地区地域審議会
2 開催日時	平成24年8月20日(月) 午後1時30分から午後3時13分
3 開催場所	香良洲公民館 2階 研修室
4 出席した者の氏名	(審議会委員) 市川富士雄 太田正之 太田増一 奥野ひとみ 木下美佐子 高山克幸 土性勝美 藤川雅幸 松島 昇 山本容江 (事務局) 津市長 前葉泰幸 総合支所長 松下哲也 地域支援員 大石 茂 副支所長兼地域振興課長 北山俊一 市民福祉課長 神田久代 産業振興・環境担当副参事 奥山秀法 危機管理担当副参事 藤川龍作 香良洲教育事務所長 市川昭子 調整総務担当主幹 加藤良弘 調整教育総務担当主幹 清水和継 地域振興担当主幹 工藤由美 地域振興担当副主幹 藤川圭司
5 内容	1 香良洲地域の将来像 2 その他
6 公開又は非公開	公開
7 傍聴者の数	1人
8 担当	香良洲総合支所 地域振興課 地域振興担当 電話番号 059-292-4374 E-mail292-4374@city.tsu.lg.jp

事務局	<p>それでは定刻になりましたので、始めさせていただきます。本日は、委員の皆様方には何かとご多用の中を、ご出席頂きまして誠に有難うございます。ただいまから平成24年度第3回香良洲地区地域審議会を開催させていただきます。本日は委員全員に出席をして頂いておりますので、会議を開催させていただきますと思います。本日の議題につきましては、香良洲地域の将来像についてでございます。会議は公開でおこなうものとなっております、会議の議事録は津市のホームページ上で公開されますのでご了承ください。なお、本日の傍聴者は1名でございます。それでは、さっそくですが、地域審議会の設置に関する協議の規定によりまして、会長が議長になって頂きますので、議事の進行をよろしくお願いします。</p>
議長	<p>本日はお忙しい中、地域審議会に出席頂きましてありがとうございます。昨今、異常気象といいますか昔の天候が参考にならない異常気象があちこちで起こっております。先日香良洲町内におきましても、香良洲神社で落雷火災がありました。他地域でも落雷で亡くなった人があるなど、考えられないような集中豪雨が起る気象状況であります。本日審議して頂く議題にもありますように防災、減災につきましても全国的な流れで前もって話し合いが必要です。そのことも踏まえて頂きまして、これからの香良洲町の将来像、香良洲町をどのような方向へ持っていったら良いか委員の皆様には発言をして頂き、それを文章にして提出し、将来の香良洲町のためになるような方向に持っていきたいと思います。よろしくお願いします。議事の進行にあたりまして皆様のご協力を頂きスムーズに進めていきたいと思います。質問がありましたら挙手をお願いします。ここで市長からご挨拶をお願いします。</p>
市長	<p>地域審議会の皆様には大変お世話になっておりありがとうございます。先般宮踊りにお邪魔を致しました。その時にすばらしい地域の伝統芸能をしっかり受け継いで頂き、文化財としてこれを守って頂きながら、地域の行事を誇らしく引き継いで頂いているということに感動しました。地域の皆さんの純粋な思いに敬意を表したいと思います。宮踊りに向けては地域の方が地域をあげて支えて頂いている、消防団はじめ各自治会の皆さん民生委員の皆さん、さらには地域の活動責任者の皆さんにお礼を申し上げます。香良洲神社の落雷については、災害でありますので心からお見舞いを申し上げます。松島会長から何が起こるか分からないということがありましたが、私もそう思います。これからも何が起こってもしっかりと対応していくことが必要だと思います。</p> <p>さて、ご報告ですが今日も最初に出てくる香良洲橋ですが、香良洲からより遠くへ高い所へと考えたところ香海中学校の子ども達が香良洲大橋の方から高茶屋へ向かって逃げる訓練をしたという話を伺って香良洲橋が機能しない</p>

	<p>ということで香良洲の方々が真剣に心配してみえることの一つの証拠ではないかなと思います。地図をみると確かに一番近く高い所へ逃げるルートとしては、香良洲橋が良いのでありまして橋自体を架け替えをして頂けないかと県政要望を毎年1回出しますが、今年も8月9日に知事の所へ行ってきました。また、8月2日に1対1対談がありました。これは知事が各市長と年に1回1時間対談をするというものです。それを東山荘（高山邸）で行いました。そこで1丁目1番地の話として香良洲橋の話をしました。県も香良洲橋の構造自体は戦前の基準でありまして、このままではいけないという認識をして頂いております。必ずやって頂きます。ただ事業費の制約がございます。すでに手掛けている事業の後になりますのでそういうことを含めて一日でも早くということをお願いしてきました。香良洲橋の話を含めて今日は審議会でお考えのことがあろうかと思っております。充分お話を伺いまして出来ることは着実に進めてまいりたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、議事を進めさせていただきます。会議は全文記録となりますので、ご発言につきましては、挙手を頂き、明瞭なご発言を頂きますとともに、議事運営につきましては、皆様方のご協力を賜りますよう、お願いします。本日の予定としましては、議事終了後は市長に退席して頂くことになっておりますので、よろしく申し上げます。本日の会議録の署名委員を <u>奥野ひとみさん、高山克幸さん</u> 両委員を指名します。それでは、本日の議題、事項書3の香良洲地域の将来像について、パワーポイントを用意させて頂いております。映像に沿って進めさせていただきます。木下さんお願いします。</p>
<p>木下委員</p>	<p>お手元の資料香良洲地域の将来をご覧ください。前回おおまかな話合いがなされましたのでこれに基づいて皆様にはパワーポイントのほうで写真等入れて簡単に説明をさせていただきます。先程からお話が出ております後期基本計画に向けた4つの視点ということで、1. 地域の課題、2. 地域かがやきプログラム事業評価と今後の方向性、3. 後期基本計画策定に向けた意見、4. 地域がめざすべき方向性と将来像について進めさせていただきます。資料のⅡをご覧ください。問題点の多い地域ではありますが、それを乗り越えていくためにきらっと光るといふか良い点はなにかということで香良洲の強みということについて前回お話がありました。1つ目は、工業専用地域の利活用をしたらどうだろうか、高台とか再生エネルギーです。2つ目は、海岸、香良洲公園に立派な松があります。かつては桜並木で賑わったという話も聞きます。桜並木の復元は強みになるのではないかという話が出ました。3つ目として、</p>

香良洲神社、歴史資料館も香良洲の強みであります。4つ目としては地域力で地縁、血縁の強い地域であります。それを嫌がるのではなくプラスの方向へ持っていくとそれが香良洲の強みではないかなと考えました。では、Iに戻ります。まず、地域の課題について、先程から市長の心強いお話がありましたように香良洲橋の架け替えについて少し進んでいるようですが、今回土性さんが、橋を下の方からの視点で見て頂いて、後程土性さんから補足していただくことがあればお願いするということで、写真だけを見てください。普段上を走っていると足元を見ないのですが老朽化が進んでいるようです。2つ目の地震・津波避難の備えと住民の協力について課題として捉えられています。香海中学校の傍にヘリーポートがあります。この高さは川の堤防の高さと同じですのでそこに水が入ってくると危険です。イメージ図としましてはヘリーポートに足下駄をつけたものです。次は工業専用地域の利活用ということで高台にしてはどうだろう。実際のところ高齢者、小さい子どもは遠くへ橋を渡って逃げられない。香良洲の場合は伊勢湾ということもありこの程度でもいいのかもしれませんが。それから地域の課題として桜並木の復元と海岸や公園の松のご紹介ですが、これは香良洲町史の写真です。かつてはすばらしい桜並木があったそうです。こういったものが復元できればいいなという話が出ました。次は香良洲公園の立派な松です。ずい分痛んできたり虫にやられているということです。それから、先程市長のお話にもありました宮踊りです。地域の無形文化財の継承ということです。継承問題が大変だと聞いております。本年はお木曳きが津まつりに出演します。来年3月29日、30日、31日にお木曳きが香良洲で開催されます。お木曳きの写真が載っております。次に、地域かがやきプログラム事業評価と今後の方向性ということでお話をさせていただきます。地域かがやきプログラム事業の活性化と再生について、今まで地域かがやきプログラム事業の中でいろいろな事業が行われて来ました。事業に対してマンネリ化、参加者が一定の方に限られてきているなど低下がみられるという話が出て来ております。その中でいろいろな人が参加できる工夫をしたらどうだろうということで、私が提案したものが皆様のお手元にございます。これは岐阜で防災運動会の事例を講習会で聞いてきましたので皆様に紹介させていただきます。運動会と防災訓練を一緒にした防災運動会でキャッチコピーは、「みんなが助かるみんなで助ける」というのですでに行っています。他にも新聞のコピーがありますが、防災キャンプとか防災ピクニック等楽しくいろいろな人が参加できるようになっています。前回の検討会では、地域の運動会に取り入れてはどうかという話が出ました。3つ目にいきます。後期基本計画策定に向けた意見の中で自然エネルギー、メガソーラーが奥野さんから出てきました。地域産業の活性化では、

	<p>香良洲の梨を子ども達に知って頂くために農業体験や海岸での地引網体験をしてもらっているという話でこういったものを活性化したらどうだろうかという話でした。4つ目として地域がめざすべき方向性と将来像、これが全体に関わる話ですが、地域の安心安全、減災のまちづくりとして香良洲はユニバーサルデザインのモデル地域です。先程市長のお話にもありましたように、香良洲としてどんな町をめざしていくのかということが大切な課題となります。3. 1 1以降リスクの多い町と言われてきております。橋が落ちたら大変だとか、そういう意味では島国なので非常に大変な状況ではありますが、逆にそれを活かす方法、提案はないのか、マイナスばかりでなく考えて頂きたいと思います。以上です。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございました。只今木下さんからご説明を頂きましたように審議会におきましていろいろな課題が山積している状態です。地域の皆さんが心配しておられるのは香良洲橋の架け替えです。それを一番に話し合いをしますと時間がなくなります。全体像として地域かがやきプログラム事業の活性化と香良洲産業の再生に2時過ぎまで時間をかけて頂き、その後で香良洲橋の架け替えについて話し合ってくださいと思います。地域かがやきプログラム事業などの活性化と再生ですが、木下委員の説明にもありました減災、防災を含めたご意見があればお聞かせ頂きたいと思います。</p>
<p>奥野委員</p>	<p>そこの地図に書いて頂いているように工業専用地域に大きな土地が空いているのが勿体無いと思います。これから自然エネルギーとしてソーラーの供給を得ていくのも一つの方法かなと思います。考えて頂けるのならお願いをしたいと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>前回、メガソーラーを造ってもらえるのならば、防災の面においても土地を嵩上げて頂いてパネルを設置して頂ければ有事の際には高台として住民の避難所になるのではという意見を皆さんから頂きました。奥野さんの発言に関わるご意見をお持ちの方があれば聞かせて頂きたいと思います。</p>
<p>木下委員</p>	<p>メガソーラーと避難の高台を合体したというイメージがあるのですが、伊勢湾で津波の高さというのは東北の状況ではない訳です。津波が来る時間も結構あります。避難訓練で香良洲から高茶屋まで逃げましたが、香良洲から逃げないと言う人も多いわけですから。だからといって知らん顔はできません。パワーポイントの高台は違う地域の高台です。あれくらいでも十分なのではないかという気はします。</p>
<p>議長</p>	<p>以前私も三重大の川口先生のお話を伺ったことがあります。湾内では2メートルから6メートルの津波の予測をたてられているそうです。香良洲は湾内でございますので香良洲の地理的条件を見てもまともに波を受ける状態ではありません。津波をまともに受け止めてだんだん大きくなった高さが15メ</p>

	<p>ートル、20メートルということです。横に流れていくとそんなにはならないということですが、安心はしてられません。高台は高齢者、災害弱者を安全なところへ避難させる一つ的手段ではないかと話の中にありました。前回の避難訓練でも我々はある程度動ける方は香良洲町外へ、何百メートルしか歩けない方を助けなくてはならず町内で避難出来る所があればということに繋がっていきます。こういうことに基づいてご意見のある方はお願いします。消防団の立場からして山本さんどうでしょうか。</p>
山本委員	<p>独居老人に関して発言させて頂きますと、香良洲町の端から端まで歩く方はみえないと思います。橋を渡って一緒に避難出来るかといいますと無理ですので、この地区からこの地区まではどこへ避難できる、津波が起きた時はこの地域は香海中学校とか香良洲小学校、あちらの地域はメガソーラーの所に避難所が出来るのならばそこへというふうに分割して避難させてあげられるような状況をつくっていくのが良いと思います。3つの橋が出来て地域の皆さんが避難出来れば良いと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございました。他にご意見ございませんか。</p>
奥野委員	<p>独居老人ですが私も山本委員と一緒に回らせて頂いております。80歳以上の方で香良洲で大きな地震に遭ったことのある方が多くあり、昔は家は倒れなかったよ、家は倒れないと言われる方があります。時代が違うし逃げるのであれば高台へと話をするとあらへんと言われるます。安心安全なまちづくりをするならば、地域地域で何人かでもいいから登れる高台を造って頂きたいと思います。地域地域というと小さくなります。香良洲の真ん中は田んぼが多いので減反の所へ一カ所、空いている土地へ一カ所という風に見える所にあれば安心していただけるのではないかと思います。自治会での避難訓練で先頭と最後尾ではかなり離れてしまって真ん中にいる私は後ろの方が外れていくので様子を見ると足が痛くて歩けない状況でした。訓練なので迎えに行きますが、そうなる避難誘導する者も遅れてしまうということになります。また、先頭と別れてばらばらになってしまい避難することにならなかったもので、そうならないように高齢化が進む香良洲地域なので見えるところに造って頂きたいと思います。香良洲にも高台がある安心安全な町になると思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。 今の意見は、メガソーラーも同時にということですね。 それに対してご意見ございませんか。</p>
木下委員	<p>先日川口先生とお話をした時に香良洲の橋は大きな地震が来たときに道と橋の間にずれが生じる。香良洲で地震が起こった時にすぐに避難行動を起こすと大渋滞が起こることになります。特に雲出側にはマリンプーズがあります</p>

<p>議長 市長</p>	<p>ので。そこで町内放送で判断をするのならちょっと待ってからでも十分間に合うのではないか、橋の傍の人の情報を総合支所に届けてもらって、今橋は渡れませんよという余裕があると思います。先程の説明で最後に言いたいことは、香良洲の場合は他の地域に比べてリスクが大きい。私が来た時はかわいいなんていい町なんだろうと思っていました。ところが3. 11以降こんな危ない町はないということになってしまいました。将来のところできらっと光る町、先程皆さん話されたようにそのリスクを逆に換えるような高台があることで防災意識を高めるシンボルになるというような、静岡にはシンボリックな資料館があります。そこを見るたびに意識を高めていきます。メガソーラーとか高台、施設といっても大型のものではなく工業専用地域の中に利活用として、いつも津の人たちが香良洲へ来ては意識を高めていく歴史資料館のようなものです。それが出来れば拠点になるのではないかと思います。嫌だといって皆が出て行ってしまうような地域ではなくそれを見に来るという逆の発想も出来るのではと思います。なぜかというと東北よりは余裕があるからです。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>議長、発言させてください。香良洲は今、海岸堤防で他の地域に比べてフロントランナーです。先に進んでいます。香良洲の海岸堤防はすべて6メートルで出来あがったばかりです。雲出古川で現在工事を行っております。行っているがゆえに香良洲の人の正直な気持ち、先程香良洲の人が逃げないとか逃げられない人が沢山いらっしゃるわけです。その人たちを一人も死なせない、防災とか生きのびる強い意志を香良洲の人たちはお持ちです。何をベースにしているかという、あらかじめこういう時はこうするんだと今まで決めておられた。ところが今回3. 11が起こってそれでは危ないのではないかと。一人も死なせなかったはずなのに死んでしまうのではないかと不安感があると思います。もう一回私は香良洲の皆さんのこの三角州に生まれ育ってこられた方々、移り住んでこられた方々が平素からお持ちの防衛本能をぜひ呼び起こして頂きたいです。たとえば、皆が逃げられないでしょう、逃げられる人は逃げれば良い、橋が生きていたら渡ってもらえば良いということがあるのですが、最初からそれは難しい。奥野さん、山本さんがおっしゃったように高齢者をどこへ、上げようかということを決めておけば、元々お持ちの防衛本能に磨きがかかると思います。そういうことを我々も考えながら川口ポンプ場、掘割ポンプ場はどうしてそこへ上がるのかと思いましたが、松島さんと一緒に海岸端から見たらやはり上がらないといけない事がわかりました。では、上がるようにしましょうと避難ビルにしました。香良洲小学校は津波避難場所、今後まっぼっくり作業所は屋上の</p>
------------------	---

	<p>改修を行います。私も見に行きましたが上がれる状態ではなかったです。3階と屋上の改修をします。若桜会館も指定をしました。浸水予定区域外ですが香海中学校は体育館の外付け階段を付けて外から上がれるように今現在行っています。ということで、それなりに防災力を高めようとしております。まず、そこへどこの地区の人を、どれだけ逃げてもらうか、計算をしたら昼間の人口 平成17年度 3,793人、それ以上のスペースは確保できています。ただ、現実9区の人たちが何処からどういう風にそこへ逃げて頂くかという現実問題稲葉から砂原まで来ることができない、何とかしないとイケない、その通りです。どうしようもない所をどうするかさらに強めていただければと思います。それが出来るのが香良洲です。香良洲が出来なかったら津の何処も出来ない。日本一災害の少ない地域というくらいの勢いでやって頂いたらすばらしい防災体制が出来ると思います。</p>
議長	<p>ありがとうございました。以前から地域審議会のメンバー、他の団体の皆さんも考えていることと思います。一番大きな力は地域の防災力を上げる、地域の危機感を昔のように上げるということだと思います。昔と今とどういう風に違うかという、防災、減災だけでなく抑止力というか隣のおじさんがうるさいから出なくてはいけない、隣のおばさんが恐いので防災訓練に出ないといけない、そういう面から地域の繋がりが始まり抑止力が強かったと思います。その抑止力が薄れてきて都市化してきたように思います。香良洲町は防災に関して皆さんの時間は同じです。地理的に同じ状況です。皆が同じ所にいるのでモデル地域にまで持っていくやすい。そういうところも含めまして香良洲橋の架け替えの項目に入っていきたいと思います。</p>
土性委員	<p>それでは、香良洲地域の皆さんが待ち望んでいる香良洲橋の架け替えについて議題を進めたいと思います。どなたか発言があればお願いします。</p> <p>香良洲橋の写真を撮った私の感じでは著しく痛んでいる所はなかったように思います。ただ、50～60年経ってコンクリートとしての寿命は近い。その根拠は香良洲の堤防は新しく換えています。どうして香良洲は早かったのかというと劣化ではありません。同年代の橋ですがその年代のコンクリートは阪神大震災で橋梁が壊れたように今の50年60年という耐用年数は現実合っているかという必ずしもそうではありません。外観的にはわからない。そこを準備の方は心配されています。白塚の人からも堤防の話が出ます。自分達はその時代土方をしていた当時の生き証人で心配であると話されています。私がぜひお願いしたい事は、香良洲には市議員がみえません。誰にこの話を持って行ったらいいのか。いろいろ考えるに市長さんから県にお願いをして頂きたい。そのお願いにあつたては、我々もぜひ一緒に行きたいと思っています。これから調査費も確保してどれくらい持つのかという証をも</p>

市長	<p>って実行していきたいと思います。ぜひ、お願いします。</p> <p>ずばりお答えします。地域で出来ることは何かというと仮橋はいらない、仮橋を架けずしばらく香良洲橋なしでとにかく架け替えを優先してくださいと県へ要望したらかなり強いと思います。県は仮橋を作るのは大変であり費用、時間がかかる。仮橋の用地に関しても時間がかかる等難しい事から考えます。何年か橋を我慢しますと地域から打ち出して頂いたらかなり強いと思います。</p>
土性委員	<p>現実には、伊勢志摩の方では橋を止めています。香良洲のメインの国道と生活道路はかなり近い所にあります。今までは両方通って行きました。生活の橋が完全に止まって国道へ回って行かないとならない。でも我慢して次の新しい橋をとということですね。</p>
市長	<p>仮橋を作らないといけないと思いついてしまっています。上流の中河原橋を現在工事しています。あれが平成30年完成ということでその後ゆっくりという感じです。県道の橋の中で香良洲橋より先にやらなければならない所があるのなら、説明をというくらい地域間で競争になったら香良洲橋を優先するのではないかと私は思います。その際に地元から仮橋はいりませんよと言ってもらえたら強いですが。皆さんがそう言われるかどうか。</p>
土性委員	<p>きちんとした説明が必要ですね。</p>
藤川委員	<p>今の香良洲橋を撤去して新しい橋を架けるということを住民に何らかの方法で大まかな計画で良いので広報等で発信ということを考えてみえますか。</p>
市長	<p>今までの行政ならそういうことをこちらから言ったかもしれませんが、私も仮橋を作らなくていいからということを経元から聞いたのですがということを経元から聞きました。事務方にはそういうことは届いておりません。藤川さんの言われる形を行政の中から積み上げて出てくるとは思えません。地域の皆さんの感じがもう少し出てくると、市民主導型の公共事業の優先順位への影響が出てくると思います。地域の皆さんの盛り上がりが出てくればいぶん変わってくると思います。</p>
議長	<p>自治会香良洲支部会長の市川さんから前回お話が出たと思いますが、特に橋の近くに住んでいる方からは架け換えて頂けるのなら仮橋はいらないと話が出ております。そのへんについて市川さんからお話して頂けませんか。</p>
市川委員	<p>先日14日に県の担当者と話合いを持ちました。その時に今年中に何らかの形を出して頂かないと県としては遅れてしまいます。仮橋は駄目で橋を撤去して架け替えるということで進めてほしいということでした。仮橋を作ると県の方では予算的に無理です。今年の12月頃までに何らかの形を出して欲しいということでした。</p>
市長	<p>地元でまとめなさいということですね。県は上から目線でそのように言って</p>

	来る訳です。
市川委員	8月27日の自治会香良洲支部理事会でこの話をします。なるべく早く住民の意思を固めたいと思います。
市長	自治会連合会香良洲支部の方でこういうことが多くの住民の意見なのでということをもとめて頂いてそれを私も連合会長さんと一緒に知事へお願いに行くという方法もあるかもしれません。
市川委員	その時はよろしくお願いします。
土性委員	危険であるという根拠を整理しお金を使って住民に説明していく必要があります。支所で予算をとってやれるのか、整理をしてやらないと。
議長	どのような手順でどのような調査をすれば良いのですか。
土性委員	プロがいます。測量を行って頂いたりコンクリートはあとどれくらい耐用年数があるか等です。
太田増委員	土性さんが言ってみえる調査費用についてはそれでよろしいと思いますが、まず市長が言われたように私が聞くところによると、自治会と諸団体等が架け換えて頂くということを前提に動いてもらっています。まず住民の意思表示をこちらでまとめる必要があります。100をまとめることは出来ないかもしれませんが、60くらいの意見をまとめたら良いと思います。
土性委員	基本的には私も全く同じです。それがまず最優先です。最後に叩かれるのがあとどれくらい持つのかとなった時に必ず聞かれると思います。仕事はセパレートに進めないで。裏付けは必要です。
太田増委員	裏付けは何ですか。
土性委員	調査です。
太田増委員	私が危惧するのは新聞にも載っていますが、県はお金がないのか私はわかりませんが、漁業関係者は調整すべきとか書いてあります。私が町会議員をしていた時に10年前にこの橋の事で東京まで陳情に行っています。その回答は県の予算がないということでそのまま合併となった訳です。
土性委員	私は反対をしている訳ではありません。時間の中で根拠も作って頂ければどうですかということです。住民の方に対して説明できるように。
木下委員	具体的な調査をすることは大切ですが、市長が知事と現場を見学してくださいました。その時に耐用年数等具体的な事を県の方で調べてみえるのではないですか。
市長	正直なところまだそこまでは。県の方は、技術的な修復ではらまきがしてあったり、橋脚間で補強がしてあったりずれ防止はやってある訳です。普通の公共事業の順番でいうと急ぎょ来年の予算で調査をしてというところまでいってはないのが事実です。それを立ち位置を換えて私が命の橋ではないのですかという言い方をしたのでやっと議論までできました。県は公平にやるからま

	<p>だまだどれくらい危ないか、あと何年持つかという調査はしていません。そういう状況なので今、土性さん、太田さんが言われたように両方しないといけないと思います。地域からどんどん声を上げて頂くのが一つです。もう一つは調査については県に調査をして頂かないといけないのですが技術的にも根拠、補強すると良いのかなと思います。例えば市川さん申し訳ないですが、よくやるのは自治会で期成同盟会のようなもの建設促進構想推進協議会のようなものをベースに作って頂いて、そこで少しお金を掛けて簡単な調査をして調査結果を持って県へお願いに行くというような動きが出てくると良いと思います。一志と美杉の話で県道一志美杉線があります。最終処分場との関係で早く進むことになった県道があるのですが、地元で建設促進協議会が長い間活動しておりますし、河芸島崎町線、北の方から海沿いを倉紡の方まで入ってくる県道ですが、あれも地元ですずっと活動されておられました。そういう活動自体がないといけないということではありませんが、地域の皆さんの思いというものをどこかで形にされた方がいいと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。橋の話は終点がないように思います。市長さんから県に対する攻め方、やり方から手順を有利な方へ進めていく話をして頂きました。</p>
太田正委員	<p>重複すると思いますが、10年以上前から架け替えはして欲しいということでしたが進展はなく、3月11日からは急速に進展しており1年半経ってきた訳で今話を聞いていたら調査とかなかなか進展していない状況だと思います。先日も知事さんに橋を見て頂き我々町民としてはかなり進んでいると、自治会香良洲支部の会長からも12月までにめどをつけたいということを知りました。昨年知事が自治会香良洲支部の方へお越し頂いて懇談内容は大半が橋のことでした。調査費とかそういうことは良く解りませんがかなり進展していると思っていました。東京オリンピックの時に首都高速が出来ました。コンクリートが落ちてきたとか聞きます。香良洲橋の交通量は伊倉津の橋と比べると10分の1と聞きます。交通量は少ないと思いますが具体的な話を出して頂いて我々に話をして頂くとかかなり進展したなと思うのですが。</p>
土性委員	<p>太田さん、やはり総合計画審議会ですよ。そのラインにどのように入っていくかということです。入ることが物凄く難しいのです。その土俵にのるために住民パワーをあげて一体でやらないと、という認識を私は持っています。</p>
太田正委員	<p>仮橋をつけないと早いということも聞きました。そういうことから青写真が出来ていたらなと思いました。</p>
太田増委員	<p>せっかく十何年も前から東京へ陳情へ行ったりしていたので、本日市長さんからいい案を頂きましたので香良洲橋を一日でも早く架け換えて頂くようにと思います。</p>

高山委員	今日も香良洲橋の事を一部の方と話をしていたのですが、意外な事に住民の底辺には浸透していないのではないのでしょうか。自治会役員の方とか10年以上前からということですが、もっと掘り起こして自治会で力を入れて頂いたらどうでしょうか。
木下委員	こんな話もあります。3.11以降古い橋があったらあの橋なら渡って逃げよう、松阪へ伊倉津へとなると同じ海拔なので行く気がしない。心理的にあの橋なら逃げよう、安全であれば確かに命の橋です。私は3.11以降早く架かるかなと期待をしました。命の橋という事があまり伝わっていない。地域の人たちにこの橋は交通量は少ないかもしれないけれど命に関わる橋なんだというアピールもハード面ばかりでなく大事であるという事です。
土性委員	市長にぜひ提案をしたいのですが。津波防災について、地震防災は静岡へ行けば一番分かります。東海地震を抱えていますので静岡は防災センターの中に家が組んであってこの家のおり家を建てなさい。建てれば壊れません。ということで地震防災は静岡なのです。提案したいのは津波防災は伊東にあります。私が思うのは津波総合防災です。津波というのはハード面はお金を掛けたら出来ます。むしろ津波はソフトです。住民パワーをどうやっていくか、これが7割から8割です。津波防災は何処へ行けば良いかとなると日本の沿岸にはありません。ぜひ私がお願いしたいのは、津波防災と言ったら津へ行きなさい、三重県の津市へ、香良洲へ行ったら津波防災が一目瞭然だ。そのためにはどうするかという事です。市長さんをお願いして津発三重県でコンペをして頂きたいのです。津波総合防災コンペを行って頂きたい。その優秀な町に人とお金を打ち込み、日本の湾岸で高齢者が死んでいくと苦しんでいる状況を津発で行って頂きたい。大学の教授がパソコンをたたいてそんなに根拠もなく津波を4メートル、6メートルと上げています。津発でぜひコンペをやって頂きたい。
市長	貴重なご意見ありがとうございます。それ以外の事で市長にという事があつたらおっしゃってください。
議長	市長さんあと5分程時間を頂けるそうです。香良洲橋以外の事があれば発言を頂きたいと思います。
土性委員	我々が阪神大震災を経験して日本は何が変わったかと言うと建物については法律改正をしました。奈良とかは、古い建物が倒壊しました。そういう結果をもって今の法律は56年以前の建物は、国・市がお金を持ち込んで診断をして補強をしました。津波に関しては東日本は復興に大変です。だから3.11以降何が変わったかと言うと何も変わっていません。変わったのは不安だけです。ということもありまして、なんとかよろしく申し上げます。
市長	励ましをありがとうございます。少しだけ宣伝をさせていただきますが、私の

	<p>出来る事は早め早めにやっているつもりです。たとえば、地域防災計画で津波対策編を作ったのは三重県で津市だけです。国が防災基本対策で全国の自治体に津波対策編を作りなさいと今言いだしているくらいです。だからかなり先取りしてやっているつもりです。地域の皆さんと今お話しているのは、それをいかに総合力へ繋げていくかという事で、予告編ですが9月1日付けの広報津市で防災の今までやって来た事を見直してこれから先は災害対応でもっと強くなりたい。そのためにはぜひ住民の皆さんと一緒にやりたいんですという事をテレビでも話します。香良洲へ行ってこんな事を話してきたという事を踏まえて進めますのでぜひ一緒になってやりましょう。</p> <p>お配りしました4月13日の地域審議会の時にお伝えさせて頂いた資料をご覧ください。総合計画審議会の時に7つお願いしたもので、木下さんはご覧頂いているものです。地域審議会ベースでもう一度戻って申し上げた事の確認ですが、合併後10年でしっかりした町を作りましょう。10年間の基本構想は尊重して総合計画を作っていきますが、香良洲で合併後やることになっていた事をきちんとやりましょう、という事の検証と確認、加えて今香良洲で一番課題になっている事、地域課題の対応、声の広報を明らかにして社会経済情勢の変化例えば防災を踏まえて何をやっていかなければならないか。そして次に国・県との連携と書きましたのは香良洲橋のような事が出てくるので、津市の事業としてあるが県の事業で早くやって欲しいということも含めて総合計画に書き込もうとしておりますので、冒頭にお願ひしましたように香良洲の思いをこの審議会では木下さんにすてきな叩き台を作って頂いていますのでこれをベースに発信をして頂ければと思います。よろしくお願ひいたします。</p>
<p>議長 市長 議長</p>	<p>それでは、市長さんに退席をして頂きます。どうもありがとうございました。どうもありがとうございました。</p>
<p>奥野委員</p>	<p>香良洲の橋の架け替えの件に関しましては、市長からアドバイスがありました。いろいろな意見も出ました。一番有利な方法を探っていきながら木下さんとまとめて文章にします。それを皆さんにお配りするということにさせて頂きます。その他まだ話し合われなかった議題があります。桜並木について審議会の中で出た議題です。ご意見ご発言があればお聞きしたいと思います。桜並木について、香良洲大橋の傍に小さな桜の苗木が植えて頂いてあると思いますが、もう少ししっかりした大きなもので桜並木にしていくということです。桜並木は橋の下の地家区の方から桜町へと続いていたのですが、トラックが通れないこともあると思いますが、だんだん木を切って減っているように思います。そこで、小公園に昔はこうだったと残して頂くのもいいかなと思います。香良洲へ入ってきてすぐ桜が見える、公園でお弁当を食べると</p>

議長	<p>いう場所が出来たらいいなと思います。復元というか昔あったトンネルは難しいと思います。ここにあって作って頂くと良いと思います。</p> <p>今の発言のように桜並木について地名にも桜町があります。行政にお聞きしたいのですが、県道、堤防に桜の苗木は簡単に植える事が出来ますか。</p>
地域振興課長	<p>堤防の定規断面を侵す状況になると堤防本体に影響する恐れがあるらしく許可が下りにくいと聞いております。</p>
議長	<p>とにかく難しいということですね。</p>
地域振興課長	<p>はいそうです。現行のままでは難しいということです。</p>
土性委員	<p>桜並木の中で考えたのですが、時代も変わっています。今の桜町の道路は昔と違って産業道路です。車が頻繁に通っています。古川の堤防はがらがらすよね。そこへ植えると立派な桜並木になります。場所はあると思います。桜町通りのエリアでという問題があるのかなと思います。場所を探して桜町通りも残してということが必要な感じはしました。</p>
議長	<p>他地域から桜見物に来てもらえるような立派な桜の名所を作るとして候補地について、堤防道路、県道は難しいということでしたが、ご発言をお願いしたいと思います。</p>
藤川委員	<p>各地区に小公園があります。木を植えてありますが、葉が落ちると近所から苦情が出ます。桜も植えたら苦情が出ると思います。個人の私有地に隣接した所へ植えると難しい問題が起きてきます。昔の桜並木ではその通りに家が無かったので良かったけど、車が通るようになって、バスも大きくなりバスに当たる、だから車が通らない場所を探すのが良いと思います。堤防の斜面という事ですが香良洲橋の所から堤防が新しくなりました。香良洲の中へ入ってくる所は何もないですがたぶん植えさせてもらえないだろうと思います。</p>
高山委員	<p>そこへは植えられないでしょう。工事中に見ておりましたが堤防法面から、40～50センチメートルのところまで全てコンクリートが打ってあります。</p>
土性委員	<p>梨畑も草が生い茂っています。住民に協力して頂いて参画してくださいという方法もあります。</p>
議長	<p>香良洲梨の発展と関係しますね。工業専用地域に高台、メガソーラーそして桜並木を作ればすばらしいものになりますね。</p> <p>桜並木についても審議会の意見として提出します。議題1はこれで終了します。</p> <p>次に、平成23年度地域かがやきプログラム事業香良洲地区地域審議会の評価ですが、委員皆さんから提出して頂いたものを集約したものです。</p>

委員	会長、副会長で精査後、香良洲地区地域審議会の評価として提出させていただきますので、ご了承をお願いいたします。よろしいですか。
議長	はい。
支所長	他にご意見があれば受け付けたいと思います。
議長	本日は1時30分からいろいろと審議をして頂きましてありがとうございました。会長、副会長には香良洲地域の将来像について文章をまとめて頂いてご足労をお願いすることとなると思います。審議会の皆様のご協力をよろしくお願い致します。
議長	これもちまして第3回香良洲地区地域審議会を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。